



地球環境のために

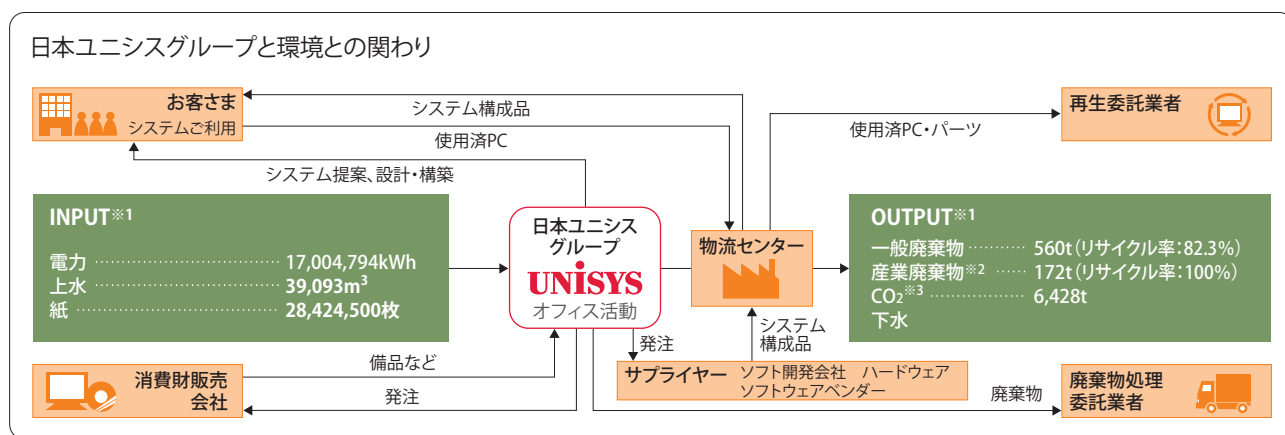
日本ユニシスグループは、「ITが地球のためにできること」を環境活動におけるスローガンとし、IT企業として、環境負荷の低減、資源の有効利用や、持続可能な社会の形成に寄与したいと考えています。

日本ユニシスグループと環境との関わり

オフィス内事業活動やサプライチェーンを通じた取り組み、eラーニングやテレビ会議システムなどのITの活用により、さまざまな形で環境負荷の削減を実現しています。

IT企業としての環境推進活動

事業活動を行ううえで電気や紙の使用量の抑制や3R(リデュース、リユース、リサイクル)促進に努めるとともに、可能な限り環境負荷の少ないシステム構成品や備品などを購入しています。また、日本ユニシスグループが提供するITサービスを通じて、お客さまの事業活動における業務効率改善や環境負荷削減にも貢献していけるものと考えます。



ISO14001認証取得状況

2007年度の日本ユニシスグループにおけるISO14001認証取得状況は、17社132部門130サイトとなりました。また、当社グループは、2007年度の日本環境認証機構の審査により、「向上」の認定を受けました。

2007年度ISO14001認証取得会社一覧(2008年3月現在)

- 日本ユニシス
- ユニアドックス
- USOLグループ各社※
- 日本ユニシス・ラーニング
- 日本ユニシス・ビジネス
- 日本ユニシス・アカウンティング
- トレードビジョン
- 日本ユニシス・エクセリレーションズ
- エイタス
- 国際システム



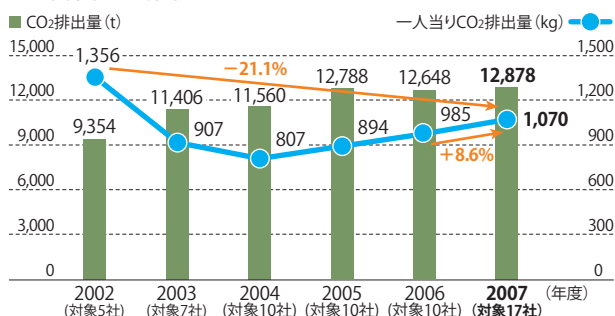
※ USOLホールディングス、USOL北海道・USOL東北・USOL東京・USOL中部・USOL関西・USOL中国・USOL九州の8社

CO₂排出量の削減

2007年度の日本ユニシスグループにおけるCO₂排出量は12,878トン※でした。社員一人当たり(契約社員などを含む)の排出量は1,070kgで、本格的な環境推進活動を開始した2002年度の1,356kgから286kg(約21.1%)減少していますが、2006年度比では85kg(約8.6%)増加しました。2008年度以降は前年度比で下回るよう、一層のCO₂削減に努めます。

※ CO₂排出量は、対象となるグループ会社の対象サイト(ビル)での電力使用量を、環境省温室効果ガス排出量算定方法(排出係数:0.378kgCO₂/kWh)に従って換算した値

CO₂排出量の推移



ITを活用した環境負荷削減活動

社内におけるテレビ会議システム、eラーニング導入やお客さま業務のシステム化など、“ITを活用した環境負荷削減”を目的に、7項目の削減対象を設定しました。また、こうした活動による効果をより具体的に把握できるよう、削減効果をCO₂排出量に換算しています。

2007年度はグループ会社5社17部門がこの活動に参加し、年間の活動を通じて全体として約228トン換算のCO₂排出量を削減することができました(2006年度は約10トンの削減)。

2008年度以降も引き続き、IT活用による環境負荷の削減を幅広い分野でめざしていきます。

※ CO₂換算数値は以下の資料をもとに換算しました
紙使用量のCO₂換算:「第8回環境に関する自主行動計画フォローアップ調査結果」日本製紙連合会
化石燃料使用量のCO₂換算:「地球温暖化対策ハンドブック地域実践編2002/2003」全国地球温暖化防止センター

IT活用による環境負荷削減対象の項目

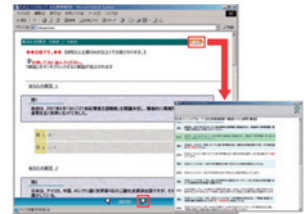
削減対象	主な効果
エネルギー消費量	地球温暖化防止(CO ₂ 排出量削減)
人の移動量	地球温暖化防止(CO ₂ 排出量削減)
物の移動量	地球温暖化防止(CO ₂ 排出量削減)
物の消費量	資源枯渇抑制(化石燃料、紙使用量削減)
倉庫スペース	水質汚濁防止(用水使用量削減)
オフィススペース	水質汚濁防止(用水使用量削減)
廃棄物排出量	廃棄物発生抑制(最終処分量削減)

各社・各部門の取り組み(抜粋)

会社・部門名	内容
日本ユニシス品質保証部	電子ボード導入による紙資料削減
日本ユニシスCSR推進部	在宅勤務試行による通勤の移動量削減(ポテンシャルとして)
日本ユニシス共通利用技術部	テレビ会議システムの利用促進
ユニアデックス関西支店	オフィススペースの効率的運用
日本ユニシス・ラーニング(大阪)	集合教育の効率的運用
日本ユニシス・ビジネス	お客さまへの電子承認/文書管理システム提供

eラーニングによる環境研修の実施

日本ユニシスグループでは社員向け環境教育においても全社員研修などをeラーニングで実施しています(契約社員などを含む)。eラーニングのメリットは、場所や時間に制約されず、都合に合わせて学習できる点ですが、その他環境の面においても、配布資料(紙)が不要なことや、教室(照明・空調設備)、受講のための移動(移動にともなうCO₂排出)が不要になるといったメリットがあります。



eラーニングによる環境研修画面

2007年度環境研修実施状況

研修名	開催回数	受講者数
全社員研修(eラーニング)	1回	10,656名
エコリーダー研修(eラーニング)	1回	333名
新任EMS推進担当者研修	17回	56名
新任部門環境管理責任者研修	1回	15名
内部監査研修	1回	5名

グリーン電力の購入

日本ユニシスグループは、日本自然エネルギー(株)が提供する「グリーン電力証書システム」に参加しています。グリーン電力証書システムとは、風力発電などの自然エネルギーによって発電された電力の“環境付加価値分”を、本システムの導入企業が支払うことで、自然エネルギーを購入し使用したとみなすシステムです。

2007年度の購入実績である92.5万kWhは、約350トン※1のCO₂排出量削減効果に値し、樹木に置き換えた場合、約500本のクスノキ※2に相当します。また、このシステムで調達された電力は、日本ユニシス関西支社と九州支社の総電力使用量にほぼ相当します。つまり関西支店と九州支社で使用する電力はすべて風力発電などの自然エネルギーによってまかなわれていることとなります。



※1 電力使用量[kWh] × 0.378kgCO₂/kWh
※2 CO₂排出量削減効果[kg/年] ÷ 700[kg/本・年]